

長い休校になってしまいましたが、家でどのように過ごしていましたか？
久しぶりにみなさんの姿を見ることができて嬉しいです。

しかし、学校が始まって、なかなか今までと同じような生活とはいきません。新型コロナウイルスにかからないようにするため、様々な対策を守っていただく必要があります。

ウイルスや細菌など、ヒトに「うつる」微生物の多くは目に見えませんが、これまでの研究により「何を介して」「どうやって」うつるのか、といったおおよそのことは分かっています。感染症から身を守るためにも、まず正しい知識を学び、その知識を得た上で「想像力」を働かして必要な対策を実践していくことが大切です。

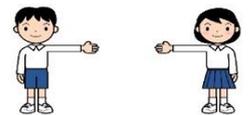
新型コロナウイルスを防ぐために学校で気を付けること

朝の健康チェック 引き継ぎ、毎朝検温をしてください。いつもより熱が高い、風邪症状、だるさ、頭痛等の症状があれば、お休みしてください。検温を忘れたら教室で測ります。

学校で具合が悪くなったら 早めに先生に伝えてください。発熱・風邪症状の場合は早退になります。

学校での過ごし方

- ・人との十分な距離を取る。2メートル離れる、ソーシャルディスタンスです。
- ・教室の窓、廊下側の窓と扉は常に開けておきます。
- ・ハンドソープを使い手をしっかり洗いましょう。特に給食前、トイレや掃除の後です（20秒以上）
- ・うがいと歯みがきはソーシャルディスタンスを守りながら、混でない水道でしましょう。
- ・手の消毒をしましょう。いつでも頻繁に消毒してください。必ずするのは、給食の前とトイレに入る前です。毎日きれいなハンカチを持ってきましょう。
- ・マスクを着用します。（口と鼻をおおう）
- ・接触感染を防ぐため、自分の顔を触らないように気を付けましょう。
- ・風邪症状でお休みしていた後、1週間は給食当番はしません。
- ・給食の前には配膳台と机の消毒をします。前向き給食で食べ、会話を控えましょう。
- ・掃除の時間に机、イス、ドアなどみんながよく触るところをスプレーで消毒します。
- ・部活動が始まったら、部活動の後に消毒作業をします。
- ・当分の間、体育着登校になります。毎日洗濯したものを着て、清潔に過ごしましょう。



感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」といわれています

「飛沫感染」は感染者のくしゃみや咳のしぶきと一緒に放出したウイルスを第三者が吸い込んで生じます。「接触感染」は感染者のくしゃみや咳のしぶきなどで汚染されたドアノブや手すり、様々な物に触ると表面にウイルスが付着し、その表面に触れた第三者の手や指を介して口や鼻の粘膜から感染するというものです。汚染された手で目をこすれば結膜からの感染リスクもあります。今の時点では、金属やプラスチックなどの表面でいつまで感染力があるのか分かっていませんが、数日間は生きていくといわれています。顔を触ってはいけません。

なお、先生方は生徒のみなさんへの飛沫感染防止のためフェイスシールドを着用します。今後も生徒への感染リスクを防止する対策をとっていきます。ご理解をお願いいたします。

